



フローレイアウトを持つ発注書フォームの作成

2009年11月

Adobe® LiveCycle™ Designer ES2

バージョン9

© 2009 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe® LiveCycle™ Designer ES2 (9.0) フローレイアウトを持つ発注書フォームの作成 (Microsoft® Windows® 版)

2009 年 11 月

This tutorial is licensed for use under the terms of the Creative Commons Attribution Non-Commercial 3.0 License. This License allows users to copy, distribute, and transmit the tutorial for noncommercial purposes only so long as (1) proper attribution to Adobe is given as the owner of the tutorial; and (2) any reuse or distribution of the tutorial contains a notice that use of the tutorial is governed by these terms. The best way to provide notice is to include the following link. To view a copy of this license, visit <http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/3.0/>.

Adobe, Adobe logo, Adobe Reader, Acrobat, and LiveCycle are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries. Microsoft and Windows are either trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.

Adobe Systems Incorporated, 345 Park Avenue, San Jose, California 95110, USA.

このチュートリアルについて

このチュートリアルでは、フォームの固定レイアウトをフローレイアウトに変更する手順を説明します。サブフォームを使用することで、フォームに各顧客の注文がすべて表示されるようになります。フォームにデータをマージする方法についても学習します。

[発注書フォームの作成](#)のチュートリアルで作成したフォームを使用して、このチュートリアルを始めましょう。フローレイアウトを持つようにこのフォームを作り替えます。フローレイアウトを持つとは、データ量に合わせてフォームが調整され、顧客が要求した注文がすべて表示されるということです。

このチュートリアルのフォームデザインでは、データソースから取得した情報を表示します。作成するのは、電子的に印刷または保存できる非インタラクティブフォームです。

追加情報

内容	参照先
他のフォームデザインのチュートリアル	発注書フォームの作成 フォームデザインに含めるフラグメントの作成方法と使用方法

フローレイアウトを持つ発注書フォームの作成

サブフォームを使用してフォームのレイアウトをフローレイアウトに変更する手順は、以下のとおりです。

[フローレイアウトを持つ発注書フォームの作成について](#)

[発注書フォームを開く](#)

[フォームの見栄えの向上](#)

[フォームの整理](#)

[フッターの形式設定](#)

[ダイナミックに拡大するテーブルの設定](#)

[合計フィールドの計算方法の修正](#)

[フィールドを読み取り専用を設定](#)


[データソースへの接続](#)

[フィールドおよびテーブルのセルへのデータの連結](#)

[データファイルの指定](#)

フローレイアウトを持つ発注書フォームの作成について

このチュートリアルを完了すると、データがマージされた次のような発注書フォームを作成できます。



Finance
ファイナンス株式会社

フォームを印刷

<p>発注番号 <u>8745236985</u></p> <p>発注日付 <u>2004/02/08</u></p>	<p>発注元 <u>OO社</u></p> <p>国 <u>OO国</u></p> <p>郵便番号 <u>123-4567</u> 県名 <u>OO県</u></p> <p>市名 <u>OO市</u></p> <p>番地 <u>OO町OO丁目</u></p> <p>電話番号 <u>(123) 456-7890</u></p> <p>Fax 番号 <u>(123) 456-7899</u></p> <p>担当者 <u>OO様</u></p>
<p>配送先 <u>OO社</u></p> <p>国 <u>OO国</u></p> <p>郵便番号 <u>123-4567</u> 県名 <u>OO県</u></p> <p>市名 <u>OO市</u></p> <p>番地 <u>OO町OO丁目</u></p> <p>電話番号 <u>(123) 456-7890</u></p> <p>Fax 番号 <u>(123) 456-7899</u></p> <p>担当者 <u>OO様</u></p>	

パーツ番号	内 容	数量	単価	小計
00010-100	モニタ	1	¥ 35,000	¥ 35,000
00010-200	デスクランプ	3	¥ 5,500	¥ 16,500
00025-275	電話	5	¥ 8,500	¥ 42,500
00300-896	アドレス帳	2	¥ 1,500	¥ 3,000

取引条件

アカウント番号: 123456

署名

		合計	¥ 97,000
地方税 %	7.00%	地方税	¥ 6,790
消費税 %	8.00%	消費税	¥ 7,760
		配送料	¥ 5,000
		総合計	¥ 116,550


このチュートリアルを完了するには、スキーマファイルとデータファイルが必要です。ユーザーが Designer ES2 に付属のサンプルをインストールしている場合は、サンプルのスキーマファイルやデータファイルを使用できます。デフォルトでは、次の場所にスキーマファイルとデータファイルが置かれます。

- ¥JA¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Schema¥Schema¥Purchase Order.xsd
- ¥JA¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Schema¥Data¥Purchase Order.xml

発注書フォームを開く

まず、前のチュートリアルで保存した発注書フォームを開きます。

- 1 ファイル／開くを選択します。
- 2 前のチュートリアルで保存したフォームを選択し、「開く」をクリックします。
- 3 ファイル／名前を付けて保存を選択し、「ファイルの種類」リストから「Acrobat ダイナミック XML フォーム (*.pdf)」を選択します。
- 4 ファイルの名前を変更します。
- 5 「保存」をクリックします。

 固定レイアウトのフォームよりフローレイアウトのフォームの方を多く作成する予定の場合は、作成するフォームのデフォルトのファイル形式を、ツール／オプションダイアログボックス（「ドキュメントハンドリング」タブ）で「ダイナミック PDF フォームファイル」に設定できます。


フォームの見栄えの向上

テーブルの上にあるフィールドオブジェクトをくぼんだボックスではなく下線付きで表示させて、印刷用にフォームの見栄えをよくすることができます。



The image shows a form titled "Finance" for "ファイナンス株式会社". The form is designed with a clean, professional look, featuring a logo with a green arrow pointing up and to the right. The form is divided into two columns: "発注元" (Order Origin) and "配送先" (Delivery Address). Each column contains fields for "国" (Country), "郵便番号" (Postal Code), "県名" (Prefecture Name), "市名" (City Name), "番地" (Address), "電話番号" (Phone Number), "Fax 番号" (Fax Number), and "担当者" (Responsible Person). The "発注番号" (Order Number) and "発注日付" (Order Date) fields are located at the top right. A "フォームを印刷" (Print Form) button is visible in the top right corner. The form is presented with a torn paper effect at the bottom.

- 1 発注番号フィールドを選択します。
- 2 オブジェクトパレットで「フィールド」タブをクリックし、表示方法リストから「下線付き」を選択します。
- 3 テーブルの上にある残りのフィールドオブジェクトに対して同じ手順を繰り返します。

 同じタイプのオブジェクトは、一度に変更することができます。

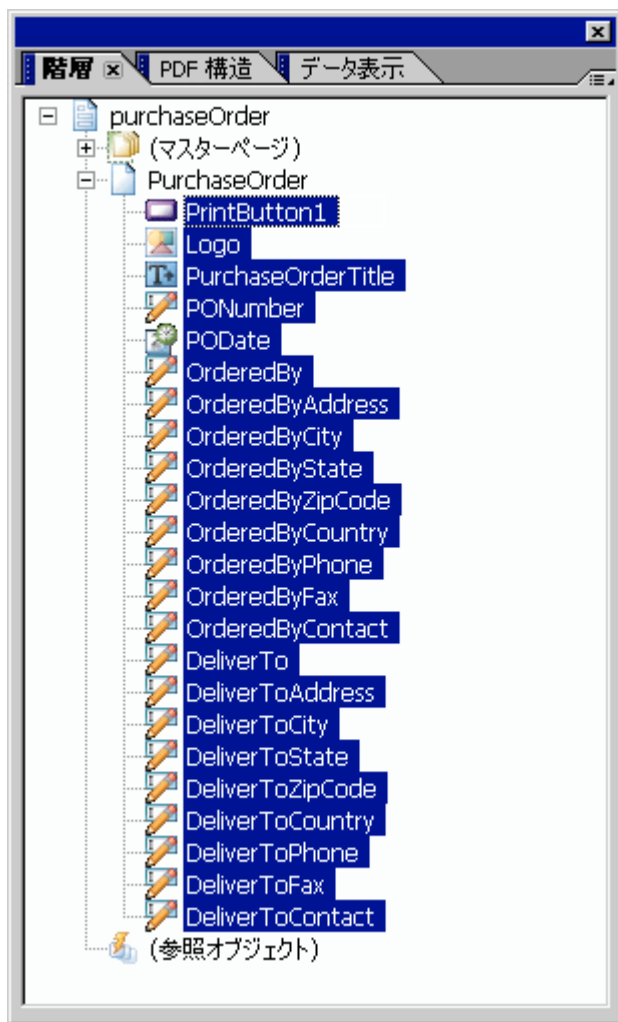
フォームの整理

- 印刷ボタン、ロゴ、および発注書タイトルを除く、テーブル上のすべてのフィールドオブジェクトを選択します。
- 段落パレットで「下揃え」をクリックします。
- 「PDF プレビュー」タブでフォームを表示します。
- フォームデザインの編集に戻るには、「デザインビュー」タブをクリックします。

フォームの整理

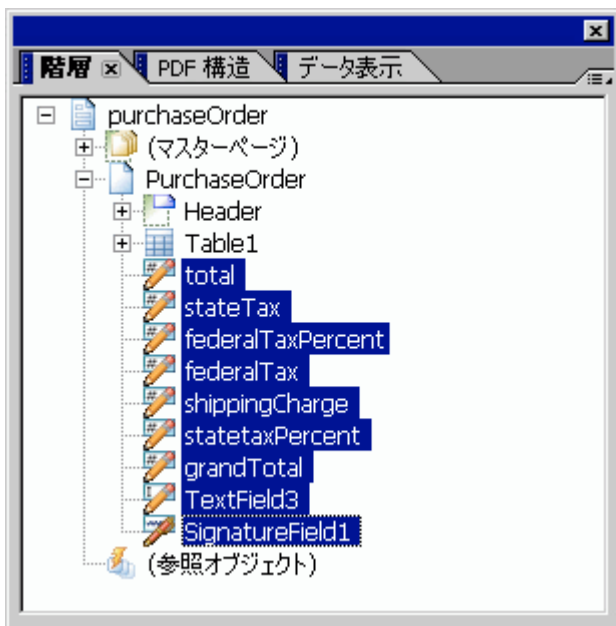
フローレイアウトを持つフォームを作成するには、セクションをサブフォームに含めてデータとマージする必要があります。サブフォームはコンテナとしての役割を持ち、その中にフィールド、ボイラープレートオブジェクト、他のサブフォームなど、各種のオブジェクトを含めることができます。サブフォームは、オブジェクトを相対的な位置に配置する場合に便利で、柔軟なレイアウトを持つフォームデザインの構造を組み立てます。

- 階層パレットで、テーブルの上に表示されるすべての項目を選択します。



フォームの整理

- 2 挿入/サブフォームに含めるを選択します。
- 3 (名称未設定サブフォーム) を選択して右クリックし、「オブジェクト名の変更」を選択します。
- 4 「Header」と入力して、Enter キーを押します。
- 5 Header サブフォームの上にスペースを入れるには、レイアウトパレットを表示し、「サイズと位置」の「高さ」ボックスに、「11.43 cm」と入力します。
- 6 階層内のすべての項目を折りたたみます。
- 7 テーブルのすべての項目 (total ~ SignatureField1) に対して手順 1 と手順 2 を繰り返し、最後の名称未設定サブフォームに「Footer」という名前を付けます。



- 8 Footer サブフォームの前にスペースを入れるには、レイアウトパレットを表示し、「余白」の下にある「上端」ボックスに「0.64 cm」と入力します。

PurchaseOrder の下のすべての項目を折りたたむと、階層パレットは次のように表示されます。




フッターの形式設定

テーブルの下にあるフィールドをくぼんだボックスではなく下線付きで表示させて、フッターを見栄えよくすることができます。また、キャプションとフィールドの値を下揃えにし、フィールドの値のみを中央揃えにすることができます。

The screenshot shows a footer section of an invoice form. On the left, there is a large empty rectangular box labeled '取引条件' (Terms and Conditions) and a signature line labeled '署名' (Signature) with a red pen nib icon. To the right is a table with the following data:

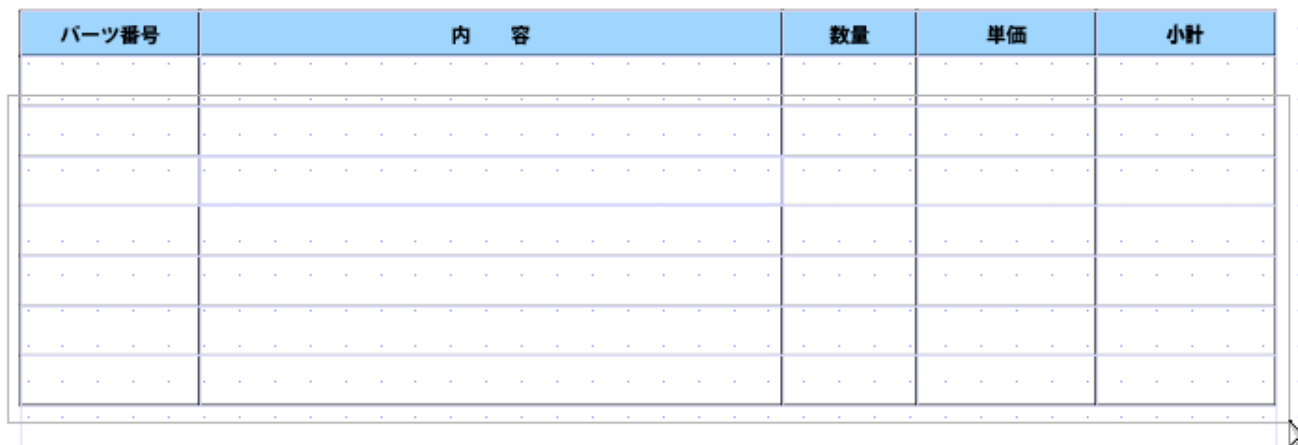
		合計	
地方税%	6.00%	地方税	¥0
消費税%	8.00%	消費税	¥0
		配送料	¥5,000
		総合計	¥5,000

- 1 フッター内のすべてのフィールド（取引条件フィールドと署名フィールドを除く）をドラッグして選択します。
 フィールドをドラッグして選択する際に、移動ポインタがある場合は、フォームデザインの境界線上の任意の場所をクリックして、ポインタの先端を矢印に変えます。
- 2 オブジェクトパレットで「フィールド」タブをクリックし、表示方法リストから「下線付き」を選択します。
- 3 段落パレットで「下揃え」をクリックします。
- 4 キャプション、値、またはキャプションと値の編集パレットで「値の編集」を選択して、段落の値の配置を変更します。
- 5 「中央揃え」をクリックします。

ダイナミックに拡大するテーブルの設定

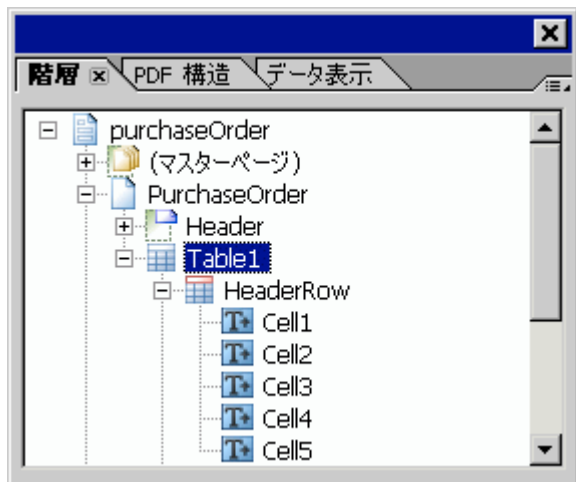
フローレイアウトを持つフォームでは、データソースに含まれるデータの量が不明な場合があるため、テーブルの行数を指定できません。このような場合は、テーブルがダイナミックに拡大するよう設定する必要があります。これを設定するには、ボディ行を 1 行のみ作成し、データソースに格納されているデータの量に応じて繰り返されるよう設定します。

- 1 2 行目以下の行をドラッグして選択します。



パーツ番号	内 容	数量	単価	小計

- 2 テーブル/削除/行を選択します。
- 3 階層パレットで Table1 を選択します。



- 4 挿入/サブフォームに含めるを選択します。
この操作により、フォーム内にテーブルを格納するセクションが作成されます。このセクションをフォームの他の部分から分離して、データの量に応じてダイナミックに拡大できるようにする必要があります。
- 5 階層パレットで（名称未設定サブフォーム）が選択された状態で、オブジェクトパレットの「サブフォーム」タブをクリックし、「コンテンツ」リストから「フローレイアウト」を選択します。
- 6 （名称未設定サブフォーム）に Table という名前を付けます。
- 7 階層パレットで Row1 を選択します。

- 8 オブジェクトパレットで「連結」タブをクリックし、「各データアイテムについて行を繰り返す」を選択します。
次に、フォーム全体がフローするよう設定する必要があります。
- 9 階層パレットで PurchaseOrder サブフォームを選択します。
- 10 オブジェクトパレットの「サブフォーム」タブをクリックし、コンテンツリストで「フローレイアウト」を選択します。
フォーム全体をフローレイアウトにすると、フォーム内のすべてのサブフォームが連続して（スペースを空けずに）表示されます。

合計フィールドの計算方法の修正

フォームのコンテンツを再編成したので、次に合計の計算が新しい Table サブフォームを参照して実行されるよう設定する必要があります。

- 1 合計フィールドを選択します。
- 2 スクリプトエディターのパレットバーをドラッグして、パレットを複数行表示できるサイズにします。
- 3 スクリプト編集フィールドに次の計算式を入力して、スクリプトを修正します。
`sum(Table.Table1.Row1[*].amount[*])`
- 4 合計フィールドの選択を解除し、スクリプトをフォームデザインに追加します。

フィールドを読み取り専用に設定

印刷可能フォームの場合は、ユーザーがフィールドを変更できないようにするため、フィールドを読み取り専用にする必要があります。

- 1 階層パレットで Header サブフォームを開き、すべてのテキストフィールド（PONumber、OrderedBy、OrderedByAddress など）を選択します。
- 2 オブジェクトパレットで、「値」タブをクリックし、種類リストで「読み取り専用」を選択します。
- 3 階層パレットで Table サブフォームを開き、テキストフィールド（partNo および description）を選択します。
- 4 オブジェクトパレットで、「値」タブをクリックし、種類リストで「読み取り専用」を選択します。
- 5 quantity、unitPrice、および amount について、同じ手順を繰り返します。
- 6 Footer サブフォーム内の各項目（SignatureField を除く）について、同じ手順を繰り返します。

データソースへの接続

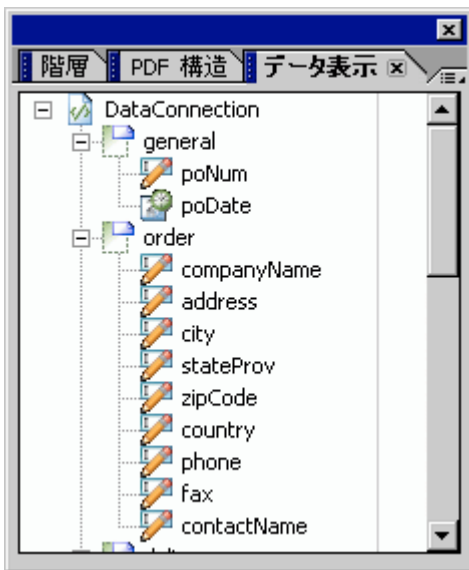
データとフォームをマージするには、データソースを接続する必要があります。接続したら、次にデータをフォームデザインのフィールドへ連結します。

データソースへフォームデザインのフィールドを連結するとき、フォームデザインとデータソース間の関連性を作成します。これにより、フォームデザインに関連する情報を取得、表示、移動、処理、出力および印刷できます。

- 1 ファイル／新規データ接続を選択します。
- 2 「XML スキーマ」を選択して「次へ」をクリックします。
- 3 ユーザーまたは管理者が Designer ES2 に付属のサンプルをインストールしている場合は、スキーマ Purchase Order.xsd を指定し、「開く」をクリックします。
このファイルは、¥J¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Schema¥Schema にあります。
- 4 「完了」をクリックします。

フィールドおよびテーブルのセルへのデータの連結

データ表示パレットにデータが表示されます。



データ表示パレットに各データソースの階層ビューが表示されます。階層の上位ノードはデータ接続を表しており、それらのノードには接続を作成したときに割り当てた名前が表示されます。

フィールドおよびテーブルのセルへのデータの連結

データソースに接続したら、フォームデザインのどのフィールドにデータを表示させるかを指定する必要があります。

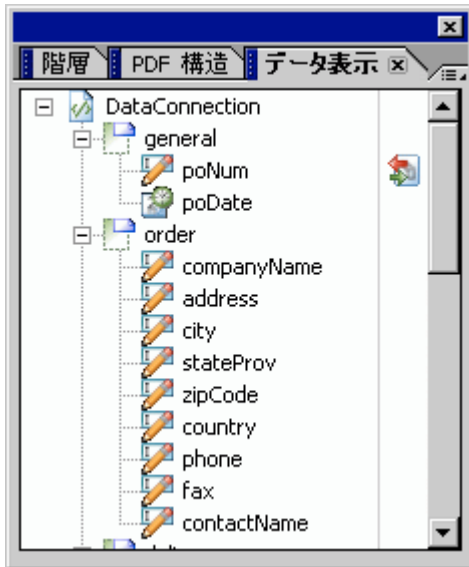
- 発注番号フィールドや発注日付フィールドなど、個別のフィールドを連結するには、ドラッグ&ドロップを使用できます。
- 発注書テーブル内の行などの繰り返しオブジェクトをスキーマ内の繰り返し項目に連結するには、オブジェクトパレットの「連結」タブにある「データ連結」ボックスを使用します。行が連結された後で、行内のセルをスキーマ内のノードに連結できます。これにより、行の連結を基準とした連結になります。

フォームデザイン内のフィールドにデータを連結するには

- 1 データ表示パレットで poNum を選択し、発注番号フィールドまでドラッグします。
- 2 連結プロパティダイアログボックスで、「すべての関連するプロパティを更新しない」を選択して「OK」をクリックします。

フィールドおよびテーブルのセルへのデータの連結

連結することにより、既存のフォームフィールドがデータソースの項目に関連付けられます。画像で poNum の右に表示されているアイコンは、ノードが連結されていることを示します。「すべての関連するプロパティを更新しない」を選択することにより、Designer ES2 によりフィールドオブジェクトに適用されている形式設定が維持されます。



- 3 データ表示パレットに表示されている残りの項目（partNum、description、quantity、および unitPrice を除く）に対して同じ手順を繰り返します。

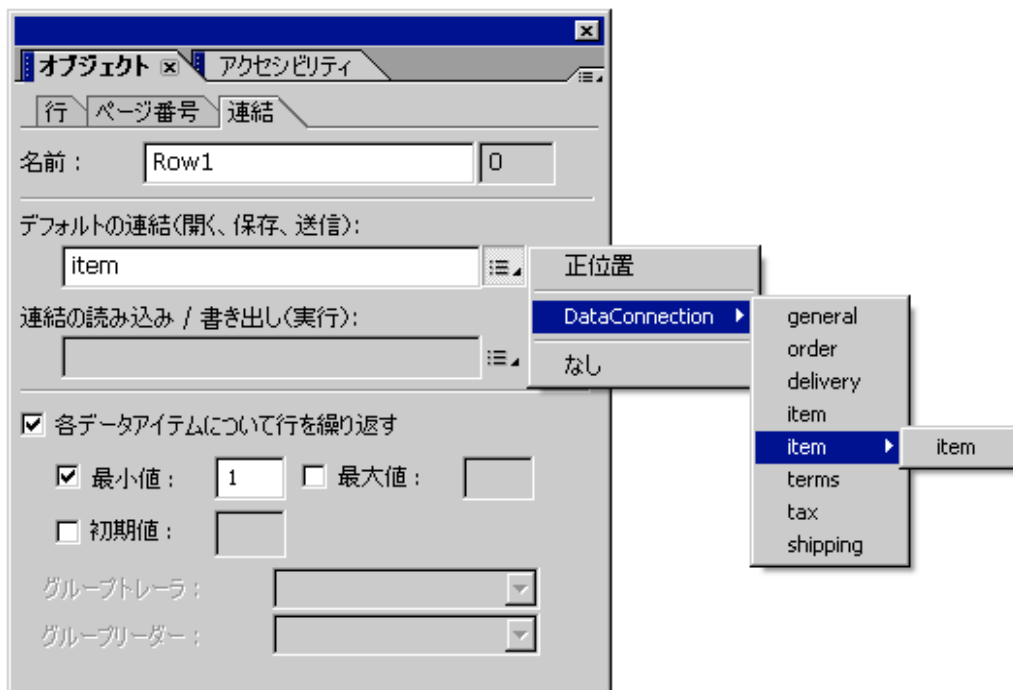
例えば、companyName を発注元フィールドに連結します。

フォーム内のテーブルのセルにデータを連結するには

- 1 階層パレットで Row1 を選択します。
- 2 オブジェクトパレットで、「連結」タブをクリックします。

データファイルの指定

- 3 「データ連結（開く、保存、送信）」ボックスの横にある三角形をクリックし、連結を選択します。ここでは、DataConnection/item/itemを選択します。



「データ連結（開く、保存、送信）」ボックスに次の文字列が表示されます。

```
$record.item.item[*].
```



この文字列を選択する代わりに、「データ連結（開く、保存、送信）」ボックスに入力することもできます。


- 4 データ表示パレットを開きます。
- 5 希望通りに連結を設定するには、ドラッグ&ドロップを使用して各ノードをセルに連結します。例えば、データ表示パレットで「partNum」を選択し、「Part No」見出しの下のセルにドラッグします。
- 6 連結プロパティダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、「すべての関連するプロパティを更新しない」を選択して「OK」をクリックします。
- 7 データ表示パレットに表示されている残りの項目（description、quantity、および unitPrice）に対して同じ手順を繰り返します。

データファイルの指定

最後に、フォームとマージするデータファイルが参照されるように指定します。

- 1 ファイル/フォームのプロパティを選択し、「プレビュー」タブをクリックします。
- 2 「プレビュー」領域で、使用するデータファイルの場所まで移動してデータファイルを選択します。
例えば、ユーザーまたは管理者が Designer ES2 に付属のサンプルをインストールしている場合は、Purchase Order.xml というデータファイルを検索して開きます。このファイルは、¥JA¥Samples¥Forms¥Purchase Order¥Schema¥Data にあります。
- 3 「開く」をクリックし、「OK」をクリックします。
- 4 「PDF プレビュー」タブでフォームを表示します。

フォームは次の図のようになります。



Finance
ファイナンス株式会社

発注書

発注元 OO社

国 OO国

郵便番号 123-4567 県名 OO県

市名 OO市

番地 OO町OO丁目

電話番号 (123) 456-7890

Fax 番号 (123) 456-7899

担当者 OO様

配送先 OO社

国 OO国

郵便番号 123-4567 県名 OO県

市名 OO市

番地 OO町OO丁目

電話番号 (123) 456-7890

Fax 番号 (123) 456-7899

担当者 OO様


パーツ番号	内 容	数量	単価	小計
00010-100	モニタ	1	¥ 35,000	¥ 35,000
00010-200	デスクランプ	3	¥ 5,500	¥ 16,500
00025-275	電話	5	¥ 8,500	¥ 42,500
00300-896	アドレス帳	2	¥ 1,500	¥ 3,000

取引条件

アカウント番号: 123456

署名

		合計	¥ 97,000
地方税 %	7.00%	地方税	¥ 6,790
消費税 %	8.00%	消費税	¥ 7,760
		配送料	¥ 5,000
		総合計	¥ 116,550

 Designer ES2 に付属の Purchase Order.xml データファイルには、4つのレコードがあります。この xml ファイルを変更してデータ量の多いデータファイルを使用し、フォームのレイアウトがデータ量に合わせて正しく調整されるかテストできます。

(オプション) 発注書フォームでマージされたデータが適切にフローするかテストするには**1 XML ファイルを開き、次の行を見つけます。**

```
<item>
  <partNum>00300-896</partNum>
  <description>Address book</description>
  <quantity>2</quantity>
  <unitPrice>15.00</unitPrice>
</item>
```

この下にさらに項目を追加することができます。例えば、次のような行を追加できます。

```
<item>
  <partNum>00300-300</partNum>
  <description>Clipboard</description>
  <quantity>3</quantity>
  <unitPrice>5.00</unitPrice>
</item>
<item>
  <partNum>00300-325</partNum>
  <description>Paper Punch</description>
  <quantity>1</quantity>
  <unitPrice>8.00</unitPrice>
</item>
<item>
  <partNum>00300-350</partNum>
  <description>Ruler</description>
  <quantity>5</quantity>
  <unitPrice>1.00</unitPrice>
</item>
<item>
  <partNum>00300-400</partNum>
  <description>Scissors</description>
  <quantity>2</quantity>
  <unitPrice>2.00</unitPrice>
</item>
<item>
  <partNum>00300-425</partNum>
  <description>Tape</description>
  <quantity>2</quantity>
  <unitPrice>2.50</unitPrice>
</item>
<item>
  <partNum>00300-450</partNum>
  <description>Glue Stick</description>
  <quantity>2</quantity>
  <unitPrice>1.00</unitPrice>
</item>
<item>
  <partNum>00300-475</partNum>
  <description>Stapler</description>
  <quantity>2</quantity>
  <unitPrice>4.00</unitPrice>
</item>
<item>
  <partNum>00300-500</partNum>
  <description>Highlighters</description>
  <quantity>1</quantity>
  <unitPrice>5.00</unitPrice>
</item>
```

次のステップ

```
<item>
  <partNum>00300-550</partNum>
  <description>Selfstick Notes</description>
  <quantity>4</quantity>
  <unitPrice>5.00</unitPrice>
</item>
<item>
  <partNum>00300-575</partNum>
  <description>Composition Notebook</description>
  <quantity>5</quantity>
  <unitPrice>8.00</unitPrice>
</item>
```

- 2 変更したデータファイルを別の名前で保存します。
- 3 フォームのプロパティダイアログボックスで、「プレビュー」タブをクリックし、変更後のデータファイルを見つけます。
- 4 「OK」をクリックし、「PDF プレビュー」タブでフォームを再表示します。

次のステップ

これで、基本的なフォームの設定方法の学習は終了です。これを基礎に、後続のページのテーブルにヘッダー行が挿入されるよう設定したり、ページ番号を追加したりすることができます。フローレイアウトを含むフォームについては、[LiveCycle Designer ES2 ヘルプ](#)の「フローレイアウトが含まれるフォームの使用」を参照してください。